

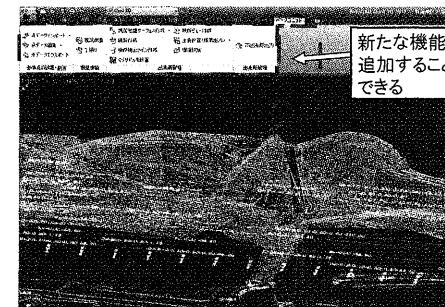
建設通信新聞

「N-i-CSS 3D e」の画面

3Dで現場管理簡易化

西松建設

大規模盛土に初適用



西松建設は、土工事の3D

施工支援システム「N-i-C

SS 3D e」をアイサンテ

クノロジーと共同開発し、大

規模盛土工事に初適用した。

施工計画から設計、施工、施

工管理までを3次元データで

支援するシステムで、現場の

管理を従来に比べて短時間化

・簡易化できる。実現場でシ

ステムを導入した結果、出来

高測量などを大幅に効率化で

きることを確認した。

新システムは、オートデスク

の3D-CAD「Civil

3D」の機能を拡張し、設

計データや測量データなどを

3次元化することで、土量計

算や帳票出力などの出来高管

理、出来形管理といったデー

タ処理作業を効率的に行う。

西松土工統合管理システム

(NiEMS) の1つとして

位置付けている。このシステ

ムと情報化施工を組み合わせ

ることで、現場作業の大幅な

時間短縮・作業の効率化が期

待できる。

盛土の出来高管理は、屋外
作業と室内作業で多くの作業
時間が必要とされる。新シス
템の導入によって、屋外作
業では測量の人員と手間が省
力化でき、ワンマン測量を実
現。一方、室内作業では作業
時間を大幅に短縮できた。出
来高測量では40%、室内作業
では約50%の作業時間を短縮
したといふ。

【建設ICT】

1. 日経	2. 朝日	3. 每日
4. 読売	5. 岐阜	6. 中日
7. 産経	8. 静岡	9. 伊勢
10. 中部経済	11. 建通	12. 日刊工業
⑬建設通信	14. 信濃毎日	15. 日本海事
16. 建設工業		

平成26年3月24日(朝・夕) P3